

## 2019年度 6人制バレーボール競技規則 ルール・取り扱いの変更点について

### ① 1.3.4 アタックライン

アタックラインは、それぞれのコートに、そのラインの後端がセンターラインの中心から 3m となるように引かれる。アタックラインによりフロントゾーンが区画される。(規則 1.4.1)

FIVB 世界公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ 15cm、幅 5cm の短いラインを 20cm 間隔で、全長 1.75m となる破線を引き、延長される。

**変更点** 監督制限ラインが廃止された。関連するルール及び取り扱いは以下の通り。

監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームのベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。(規則 5.2.3.4)

ラインジャッジ (特に L2) の判定の妨げになるような場合には、審判員が注意する。

### ② 11.2 ネットの下からの相手コートへの侵入

11.2.1 相手チームのプレーを妨害しない限り、ネットの下で相手空間に侵入してもよい。

11.2.2 センターラインを越え相手コートに侵入すること：

11.2.2.1 相手コートに侵入している片方の足 (両足) の一部がセンターラインに触れているか、センターライン真上の空間にあれば、その足 (両足) は相手コートに触れてもよい。

11.2.2.2 相手チームのプレーを妨害しない限り、足首より上の身体のどの部分が相手コートに触れてもよい。

**変更点** 取り扱いにおいて以下の点の変更となった。

選手が、レシーブのためにネット付近でスライディング等のプレーをした時に、誤って相手コートに入ってしまった場合、両足が完全に相手コート上の空間にあったとしても、足が相手コートに触れておらず、相手のプレーを妨害していなければ、反則とはみなさない。

### ③ 15.11 不当な要求

15.11.1 以下のような正規の試合中断の要求は不当な要求である。

15.11.1.1 ラリー中、またはサービスのホイッスルと同時か、あるいはその後に要求すること。

15.11.1.2 要求する権利のないチームメンバーが要求すること。

15.11.1.3 インプレー中の選手の負傷や病気の場合を除いて、同じチームが同じ中断中に 2 回目の選手交代を要求すること。

15.11.1.4 タイムアウトと選手交代の許容回数を超過して要求すること。

15.11.2 試合での 1 回目の不当な要求は、試合に影響を与えず、試合の遅延にならなければ拒否される。罰則の適用を受けることはないが、記録用紙には記録される。

15.11.3 同じチームが試合中に、さらに不当な要求をした場合は遅延行為とみなされる。

**変更点** 取り扱いにおいて次の 2. について取り扱いが変更となった。

1. 正規の試合中断の要求に関して、チームが**不当な要求**で拒否された後、その中断中に同じチームによる同じ試合中断の要求は認められないが、違う種類の試合中断の要求は認められる。ただし、15.11.1.1 の不当な要求については、サービスの実行が優先され、試合中断の要求はすべて認められない。

2. 正規の試合中断の要求に関して、チームが**遅延警告**を受けた場合、同じチームによる試合中断の要求は、**次のラリーが完了するまで認められない**。(けがや病気による選手交代を除いて)

3. (略)

4. サービスのホイッスルと同時か、あるいはその後の試合中断の要求は拒否され、ラリー終了後、記録用紙に不当な要求として記載する。もしも、**副審がホイッスルした場合でも、特に試合を遅らせずに再開できる時には遅延とはせずにサービスのホイッスルを吹き直し、そのラリー終了後に不当な要求の処置を行う**。

以上